英語の基礎－５

☆「身の回りにある英単語」

外来語だけでなく、本物の英語(英単語)もたくさん私たちの周囲に転がっています。それを私たちはただ気づかずにいるだけです。いくつもの英単語を目で見ているにもかかわらず、気に留めてこなかっただけです。これからは、そんな身近な英単語にも注意を払ってしっかりちゃっかり覚えて行きましょう。

☆「辞書の引き方」

国語辞典と引き方は同じです。ただアルファベット順に単語が並んでいるだけです。まず辞書の左上の単語と右上の単語に注意してその単語のあるページを見つけます。その後でじっくりと開いたページの中から目的の単語を探します。

☆「単語帳の書き方」

調べようとする単語をあらかじめ単語帳に書いておき、その単語を辞書で調べて「発音記号」「品詞」「意味」をそれぞれ書きます。その単語が見つからなかった場合はそのままにしておきますが、単語の終わりがちょっと違っただけで似ている単語があればその単語を調べて、単語帳に書き入れます。

☆「単語練習の仕方」

英語は「表音文字」なので、ネイティブにとっては単語練習などしなくても発音さえできれば書くことができるし、書いてある単語は普通に読むことができます。それは日本人にとっての“ひらがな”や“カタカナ”を読むのと同じです。はじめは手間と労力がかかりますが、正しい方法で練習すれば効率よく覚えられるようになります。

１，「英単語帳」の書き方の実例です。

発音記号を見よう見真似で書き写し、声に出して読んでみる。

PAGE	FOREIGN WORD	PRON		JAPANESE	
	apple	æpl あプる	名	りんご りんごの木	
	exile				
	catcher （catch）		動	つかまえる ボールなどを捕らえる	
	perfume				

「へぇ～」とか「なるほど！」とか思った意味だけを書けばよい。

辞書によっては読み方は書かれていない。あくまでも発音記号を読むための補助として扱う。

品詞名を必ず書く。

その単語が見つからず、似た単語なら近くにあった場合はその単語を（　）に入れて書き、それを調べる。